

# 参考資料

---

1. 2009年3月期 第3四半期決算ハイライト補足
2. 2009年3月期 第3四半期の取り組み（新聞、雑誌等の記事より抜粋含む）
3. プロジェクト事例
4. その他

# 連結決算ハイライト <第3四半期>

(百万円)

	2008年3月期 3Q(10~12月)	2009年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
売上高	84,679	85,923	+1,244	+1.5%
営業利益	11,752	13,603	+1,851	+15.8%
営業利益率	13.9%	15.8%	+2.0P	
経常利益	12,243	14,079	+1,835	+15.0%
当期純利益	7,129	7,419	+290	+4.1%

# 連結P/Lハイライト <第3四半期>

(百万円)

	2008年3月期 3Q(10~12月)	2009年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
売上高	84,679	85,923	+1,244	+1.5%
売上原価	59,875	59,592	△283	△0.5%
外注費	29,734	31,075	+1,340	+4.5%
売上総利益	24,803	26,331	+1,527	+6.2%
売上総利益率	29.3%	30.6%	+1.4P	
販管費	13,050	12,727	△323	△2.5%
営業利益	11,752	13,603	+1,851	+15.8%
営業利益率	13.9%	15.8%	+2.0P	

# 連結P/Lハイライト

## <第3四半期> 続き

(百万円)

	2008年3月期 3Q(10~12月)	2009年3月期 3Q(10~12月)	増減額	増減率
<b>営業利益</b>	11,752	13,603	+1,851	+15.8%
<b>営業外損益</b>	491	475	△16	△3.3%
受取利息	330	252	△78	
受取配当金	150	166	+15	
<b>経常利益</b>	12,243	14,079	1,835	+15.0%
<b>特別損益</b>	393	△945	△1,338	
投資有価証券売却益	399	-	△399	
投資有価証券評価損	-	△303	△303	
関係会社株式評価損	-	△642	△642	
<b>法人税等</b>	5,508	5,713	+205	
<b>当期純利益</b>	7,129	7,419	+290	+4.1%

# 業種別連結売上高

## <第3四半期>

(百万円)

	2008年3月期 3Q(10~12月)	構成比	2009年3月期 3Q(10~12月)	構成比	増減額	増減率
証券業	35,951	42.5%	31,644	36.8%	△4,306	△12.0%
保険業	9,453	11.2%	13,708	16.0%	+4,255	+45.0%
銀行業	7,181	8.5%	6,842	8.0%	△339	△4.7%
その他金融業	7,071	8.4%	7,242	8.4%	+170	+2.4%
<b>金融サービス業</b>	<b>59,658</b>	<b>70.5%</b>	<b>59,437</b>	<b>69.2%</b>	<b>△220</b>	<b>△0.4%</b>
流通業	11,275	13.3%	10,887	12.7%	△388	△3.4%
その他産業等	13,744	16.2%	15,598	18.2%	+1,853	+13.5%
<b>合計</b>	<b>84,679</b>	<b>100.0%</b>	<b>85,923</b>	<b>100.0%</b>	<b>+1,244</b>	<b>+1.5%</b>
野村ホールディングス	24,106	28.5%	23,237	27.0%	△868	△3.6%
セブン&アイ・ホールディングス	9,622	11.4%	9,711	11.3%	+89	+0.9%

(注)野村ホールディングスおよびセブン&アイ・ホールディングス向け売上高は、それぞれの子会社向け売上高を含む

# 品目別連結売上高

## <第3四半期>

(百万円)

	2008年3月期 3Q(10~12月)	構成比	2009年3月期 3Q(10~12月)	構成比	増減額	増減率
コンサルティングサービス	7,662	9.0%	8,104	9.4%	+441	+5.8%
開発・製品販売	37,300	44.0%	37,591	43.7%	+290	+0.8%
運用サービス	34,962	41.3%	37,208	43.3%	+2,245	+6.4%
商品販売	4,753	5.6%	3,019	3.5%	△1,733	△36.5%
ITソリューションサービス	77,016	91.0%	77,819	90.6%	+802	+1.0%
合 計	84,679	100.0%	85,923	100.0%	+1,244	+1.5%

# 2009年3月期第3四半期の取り組み

---

## セブン銀行向け管理会計システム構築

■セブン銀行向けの管理会計システム、ATMの処理データを一元的に収集・管理し、事業毎に損益状況の把握や分析ができる環境を構築。これにより、ATM別・提携先別・拠点別・事業別・商品別・顧客別等のさまざまな切り口による収益構造・コスト構造を把握することが可能となり、データ分析に基づいた合理的な資源配分による戦略立案に役立てることができる

■NRIは今回のノウハウを生かし、金融機関の管理会計システム構築を支援して行く予定

2008年12月20日 日経産業新聞

# 2009年3月期第3四半期の取り組み

## IT全般統制代行

■企業の情報システム部門が担うIT全般統制を支援するサービス「LINKBITS(リンクビッツ)」の提供を11月20日より開始。ネットワークを通じ、システムの本番環境へのアクセスと本稼働に関する統制業務を遠隔で代行する

■新サービスは主に、プログラム変更に関する本稼働プロセスとID・アクセス管理のサービスをNRIのサービス提供施設で集中的に代行し、統制状況を顧客に提供。IT全般統制コストの低減につなげられる

### IT全般統制 関連サービス NRI

野村総合研究所(NRI)は業務遂行に必要なITインフラ管理(IT全般統制)支援サービスの提供を始めた。ネットワークを通じ、システムの本番環境へのアクセスと本稼働に関する統制業務を遠隔で代行する。コンサルティングだけでなく、遠隔代行まで手がけるIT全般統制関連サービスは国内初という。価格は初期導入費用を除き、月額105万円から。09年3月末までに3億円の売り上げを目指す。

新サービス「リンクビッツ」は主に、プログラム変更に関する本稼働プロセスとID・アクセス管理のサービスをNRIのサービス提供施設で集中的に代行し、統制状況を顧客に提供する。IT全般統制関連コストの低減につなげられる。

2008年11月26日 日刊工業新聞



# 2009年3月期第3四半期の取り組み

## ID管理ソリューション「Uni-ID」

- インターネット上でのサービス利用者に対し、ID情報を発行し、管理する企業間でIDの認証と相互運用をできるようにするシステムを開発。11月5日より発売開始
- 利用者の複数ID管理の負荷を大幅に軽減する。またID発行企業にとっても、個人情報の維持管理の負荷が軽減できる
- サービス提供形態については、事業者のニーズに合わせて、ASPサービスでの提供や、コンサルティングを含む構築サービスとして提供可能

### NR I ID情報を複数企業間で共有 管理ソリューション発売

野村総合研究所（NR I）は、インターネット上でのサービスの利用者に対し、アイデンティティ情報（ID情報）を発行し、管理する企業間でIDの認証と相互運用をできるようにするシステムを開発し、5日から販売を始めた。開発したID管理ソリューション「Uni-ID」は、（ユニアイディー）」は、

ID情報を複数の企業間で安全に共有できるようにする仕組みで、利用者が行わざるを得なかった複数のID管理の負荷を大幅に軽減する。ID発行企業にとっても、個人情報の維持管理の負荷が軽減できる。採用した技術は、昨今普及が進むOpenIDやSAML、LDAP、アクティブディレクトリなどの

2008年11月06日 電波新聞

# 2009年3月期第3四半期の取り組み

---

## OSSを使いシングルサインオン環境構築

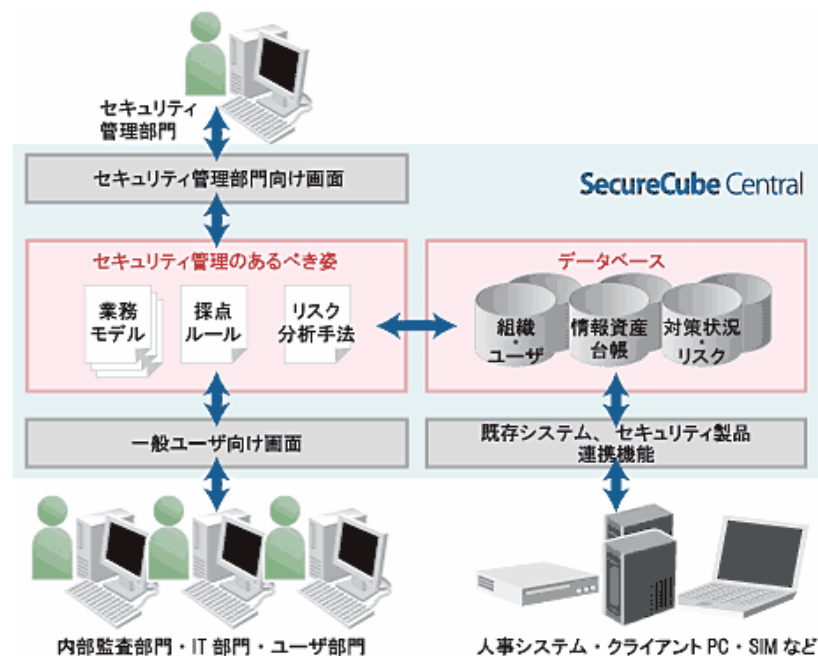
- オープンソースソフト(OSS)を使い、一度の認証により複数のシステムの利用を可能にする「シングルサインオン」システムの構築サービス「OpenSSO」を開始
- ライセンス料が必要な従来のソフトを使う場合に比べ、5年間の運用コストを約半分に削減できる
- NRI開発「Uni-ID」をOpenSSOと統合することで、企業内のシングルサインオンだけでなく、企業間のシングルサインオンを実現できる
- 今後3年間で約50社への導入を目指す

2008年12月12日 日経産業新聞

# 2009年3月期第3四半期の取り組み

## 情報セキュリティ管理業務を改善・効率化

- NRIセキュアテクノロジーズが、企業内セキュリティ管理業務を改善・効率化するという新しいコンセプトに基づいた「セキュアキューブ/セントラル」の販売を2008年12月4日から開始
- 企業におけるパソコンの設定や社員への教育など、現在のセキュリティ対策の状況を入力すると安全性やリスクを採点できる機能を持つ
- 汎用パッケージとして提供すると共に、コンサルティングや導入SIもあわせて提供する



2008年12月8日 日経産業新聞

# 2009年3月期第3四半期の取り組み

---

## グループ企業再編

■2子会社の売却や子会社同士の統合によるグループ再編を発表

■ITや経営系の研修事業を展開しているNRIラーニングネットワークをキャノンマーケティングジャパンに、保険業界向けのシステム開発を手がけるインステクノをソフト開発の東邦システムサイエンスにそれぞれ全株式を09年4月に譲渡する予定

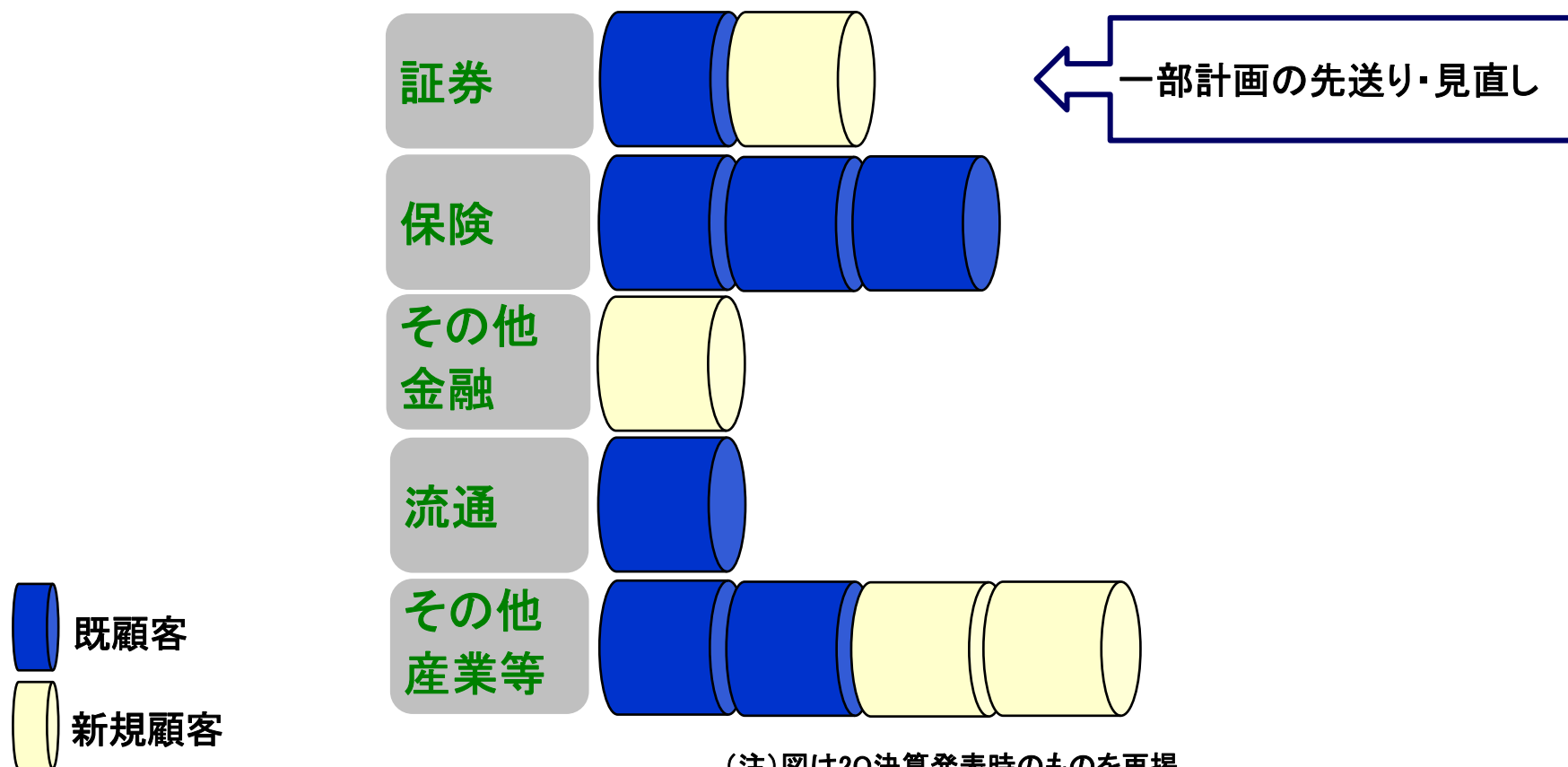
■また、インターネット技術を使ったシステム構築を手がけるNRIネットワークコミュニケーションズとマーケティング支援のNRIウェブランディアを09年4月1日付で合併させる

2008年12月15日 日本経済新聞

# 大型システム開発プロジェクト案件

➤ 証券業を中心に、計画変更による規模の縮小や、対応時期の延期などが顕在化

＜2009年3月期下半期大型プロジェクトの受注見通し＞



(注) 図は2Q決算発表時のものを再掲

## プロジェクト事例

- Daybreak/PLは、貸金業法・割販法の改正に対応した指定信用情報機関への接続サービス
- 2009年6月サービス開始予定



株式会社 青山キャピタル 様



株式会社 オリエントコーポレーション 様



株式会社 ジェーシービー 様



スロミス株式会社 様



株式会社 ライフ 様

※50音順

他5社 **Daybreak/PL** の採用内定

## その他 - 業績補足説明資料

### ■ 売上高3,400億円・営業利益480億円の収支モデル

(億円)

	2008年3月期 (実績)	2009年3月期 (1/29予想)注	前期比		2009年3月期 (10/24予想)注
			金額	増減率	
売上高	3,422	3,400	△22	△0.7%	3,500
売上原価	2,385	2,410	+24	+1.0%	2,500
うち労務費	528	550	+21	+4.1%	570
うち外注費	1,185	1,240	+54	+4.6%	1,250
うち減価償却費	152	200	+47	+31.4%	200
売上総利益	1,037	990	△47	△4.6%	1,000
粗利率	30.3%	29.1%	△1.2P		28.6%
販管費	510	510	△0	△0.2%	520
営業利益	526	480	△46	△8.9%	480
営業利益率	15.4%	14.1%	△1.3P		13.7%

(注) 収支モデル作成のための連結想定値

## その他 - ブランド向上に向けて、引き続き活動中！

### フォーラム



新春フォーラムを開催 2009年1月22日 大阪  
2009年1月27日 東京



ノムラ・インベストメントフォーラム2008へ参加  
2008年12月1日

### 出版物



東洋経済新報社発行